

NF-2198  
US

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年11月30日

出 願 番 号

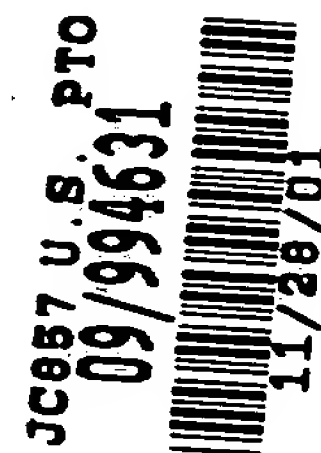
Application Number:

特願2000-365685

出 願 人

Applicant(s):

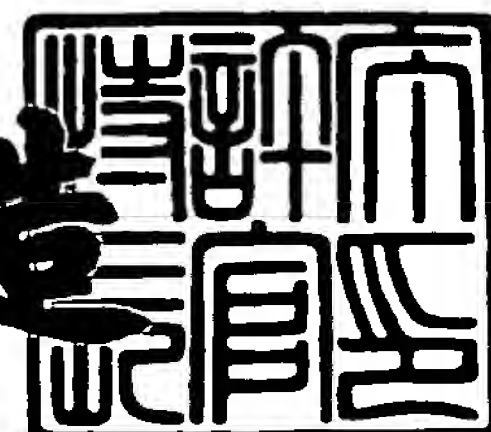
ワイケイケイ株式会社



2001年 8月24日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3075068

【書類名】 特許願

【整理番号】 JAIP00026

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A44B 17/00

【発明者】

    【住所又は居所】 富山県下新川郡朝日町窪田 3 6 9

    【氏名】 松島 秀幸

【発明者】

    【住所又は居所】 富山県黒部市三日市 4 0 2 1

    【氏名】 高沢 成吉

【特許出願人】

    【識別番号】 000006828

    【氏名又は名称】 ワイケイケ株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100070529

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 縣 一郎

【選任した代理人】

    【識別番号】 100091948

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 野口 武男

【選任した代理人】

    【識別番号】 100108350

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 鐘尾 宏紀

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 025265

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705177

【包括委任状番号】 9704377

【包括委任状番号】 9704378

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 スナップファスナー

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 対面方向に係脱自在な一対のスナップエレメント 1、2 は、一方のスナップエレメント 1 の基板 3 に係合頭部 6 を突設し、他方のスナップエレメント 2 の基板 4 に係合頭部 6 が係合可能な係合孔部 7 を穿設し、各基板 3、4 の基部 5、5' に被着体 16 を取り付け、いずれか一方のスナップエレメント 1、2 に摘み部 8 を設け、他方のスナップエレメント 2、1 に一方のスナップエレメント 1、2 の基部 5、5' と当接する受け部 9 を設けてなることを特徴とするスナップファスナー。

【請求項 2】 いずれか一方のスナップエレメント 1、2 に設ける摘み部 8 は、他方のスナップエレメント 2、1 の基板 4、3 の端部または縁部を越えて外方へ突出する形に形成してなる請求項 1 記載のスナップファスナー。

【請求項 3】 一方のスナップエレメント 1 は平板状の基板 3 の一端に基部 5 を突設した断面 L 字状を呈し、他方のスナップエレメント 2 は平板状の基板 4 の一端に舌片状の受け部 9 を形成してなる請求項 1 記載のスナップファスナー。

【請求項 4】 一対のスナップエレメント 1、2 は、それぞれの基板 3、4 の端部に、係合相手の基板 4、3 の基部 5、5' よりも突出させて摘み部 8 を設けるとともに、その内方に受け部 9 を設けてなる請求項 1 記載のスナップファスナー。

【請求項 5】 一対のスナップエレメント 1、2 は、それぞれ熱可塑性樹脂を用いて射出成形手段によって一体成形して形成してなる請求項 1 記載のスナップファスナー。

【請求項 6】 少なくとも一方のスナップエレメント 1、2 は熱可塑性樹脂を用いて射出成形手段によって成形すると同時に、基板 3、4 の基部 5、5' を被着体 16 に成形して取り付けてなる請求項 1 記載のスナップファスナー。

【請求項 7】 少なくとも一方のスナップエレメント 1、2 における基板 3、4 の基部 5、5' に、被着体 16 が挿通可能な挿通孔 12 を備えた取付板 11 を連設してなる請求項 1 記載のスナップファスナー。

【請求項 8】 少なくとも一方のスナップファスナー 1、2 における基板 3、4 の基部 5、5' に、被着体 1 6 が縫着可能な取付孔 1 4 を備えた取付部 1 3 を連設してなる請求項 1 記載のスナップファスナー。

【請求項 9】 一对の被着体 1 6 に所定間隔で対向してスナップエレメント 1、2 を多数取り付けてなる請求項 1 記載のスナップファスナー。

【請求項 1 0】 一方のスナップエレメント 1 の基板 3 の基部 5 にカーテン 2 4 を取り付け、他方のスナップエレメント 2 の基板 4 の基部 5' にカーテンレール用のランナー 2 5 を取り付けてなる請求項 1 記載のスナップファスナー。

【請求項 1 1】 スナップエレメント 1、2 の基板 3、4 の基部 5、5' に取り付けられる被着体 1 6 は、各被着体 1 6 の中心線を同一線上に配置してなる請求項 1 記載のスナップファスナー。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、衣服、バッグ、履物、カーテンなどに使用できるスナップファスナーであり、スナップファスナーは一方が基板に係合頭部を形成したスナップエレメント、他方が基板に係合孔部を形成したスナップエレメントから構成され、このスナップエレメントを被着体に取り付け、係合頭部と係合孔部とが対面方向で係脱できるスナップファスナーに関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来のこの種のスナップファスナーは、図 1 8 に示すようにスナップボタンの雄部は、外周の中程に断面円弧状の膨出環を突設した嵌入筒を座板の裏面中央に突設し、座板の周縁の一侧に摘み片を突設し、雌部は膨出環より小径の通孔を有する嵌合筒を座板の表面中央に突設し、嵌合筒に嵌入筒を嵌め込み膨出環と通孔とを係合させるスナップボタンが実公昭 5 0 - 3 8 6 8 8 号公報に開示されている。

【0 0 0 3】

また、図 1 9 に示すように、一对のファスナーテープの縁部に一定の間隔をお

いて、一方がファスナーエレメント（咬合子）として側面すなわち横方向に張り出した係合頭部のある係合雄部を一体成形して取り付け、他方がファスナーエレメントとして側面すなわち横方向へ突出する係止部を形成した係合孔部のある係合雌部を一体成形して取り付け、係合雄部と係合雌部とが上下に係合できるように形成し、左右のファスナーテープに成形したファスナーエレメントをファスナーチェーンに挿通したスライダーの摺動によって、上下に係脱できるように形成したスライドファスナーが特開平 1 1 - 3 0 9 0 0 5 号公報に開示されている。

## 【 0 0 0 4 】

## 【発明が解決しようとする課題】

前項で述べた図 1 8 に示すスナップボタンは、重合状態の被着物に取り付け使用するものであり、被着物が水平方向に引っ張られたときに、雄部と雌部が傾いて両者の係合が解除されるおそれがある。また図 1 9 に示すスライドファスナーは、ファスナーテープに一体成形した係合雄部と係合雌部のファスナーエレメントに係脱させるのは、ファスナーチェーンに挿通されたスライダーの摺動によって、係合雄部と係合雌部とに係脱させるものであるため、必ず被着体の端部に配置された係合雄部と係合雌部より係脱がなされるので、中央付近に配置される係合雄部と係合雌部を先に係脱させることが難しく、特に係合状態にある係合雄部と係合雌部とを抜脱させるには、抜脱操作を支援する機構が備えられてないので、操作が大変面倒であるなど問題点がある。

## 【 0 0 0 5 】

この発明は、上述の問題点を考慮して発明されたものであり、この発明のうち請求項 1 記載の発明は、係合頭部のあるスナップエレメントと係合孔部のあるスナップエレメントとに係合させたとき、一方のスナップエレメントに設けた摘み部と、他方のスナップエレメントに設けた受け部とを利用して、簡単かつ的確にスナップエレメントの係合を離脱させ、抜脱操作を行うことができるスナップファスナーを提供することが主たる目的である。

## 【 0 0 0 6 】

請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の目的に加え、一方のスナップエレメントに設ける摘み部の形態を特定することによって、スナップエレメントの

係合時の抜脱操作におけるスナップエレメントの摘み動作が簡易にできるスナップファスナーを提供することが目的である。

【 0 0 0 7 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の目的に加え、一对のスナップエレメントの形態を特定することによって、係合状態のスナップエレメントの離脱動作が的確かつ速やかに行われるスナップファスナーを提供することが目的である。

【 0 0 0 8 】

請求項 4 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の目的に加え、1 個のスナップエレメントに摘み部と受け部とを設け、摘み機能と受け機能とを兼用できる便利なスナップエレメントから形成されたスナップファスナーを提供することが目的である。

【 0 0 0 9 】

請求項 5 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の目的に加え、一对のスナップエレメントの素材を特定することによって、簡単にスナップエレメントを作製することができ、しかもスナップエレメントを簡易に被着体に取り付けることができるスナップファスナーを提供することが目的である。

【 0 0 1 0 】

請求項 6 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の目的に加え、スナップエレメントの素材に熱可塑性樹脂を用いることによって、スナップエレメントを成形と同時に、簡単に被着体に取り付けることができるスナップファスナーを提供することが目的である。

【 0 0 1 1 】

請求項 7 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の目的に加え、スナップファスナーの使用態様を特定し、スナップエレメントを取り付ける被着体がベルトであり、しかもベルトの取り付けが簡易に行え、適用商品の利用範囲の開拓が図れるスナップファスナーを提供することが目的である。

【 0 0 1 2 】

請求項 8 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の目的に加え、スナップファスナ



一の使用態様を特定し、スナップエレメントを取り付ける被着体が布帛、シート類であり、しかも布帛、シート類の取り付けが簡易に行え、適用商品の利用範囲の開拓が図れるスナップファスナーを提供することが目的である。

【 0 0 1 3 】

請求項 9 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の目的に加え、スナップファスナーの使用態様を特定し、一对の被着体間をスナップエレメントにより確実に連結でき、適用商品の利用範囲の開拓が図れるスナップファスナーを提供することが目的である。

【 0 0 1 4 】

請求項 1 0 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の目的に加え、スナップファスナーの使用態様を特定し、スナップエレメントを取り付ける被着体がカーテンであり、しかもカーテンの取り付けが簡易に行え、適用商品の利用範囲の開拓が図れるスナップファスナーを提供することが目的である。

【 0 0 1 5 】

請求項 1 1 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の目的に加え、一对のスナップエレメントの被着体への取り付け形態を特定することによって、スナップエレメントの係合状態を確実に維持することができるスナップファスナーを提供することが目的である。

【 0 0 1 6 】

【課題を解決するための手段】

前記の目的を達成するため、この発明のうち請求項 1 記載の発明は、スナップファスナーは対面方向に係脱自在な一对のスナップエレメント 1、2 から構成され、一方のスナップエレメント 1 は基板 3 の中央に断面膨大状の頭部からなる係合頭部 6 を突設し、他方のスナップエレメント 2 は基板 4 の中央に係合頭部 6 が係脱できる係合孔部 7 を穿設し、各基板 3、4 の基部 5、5' に被着体 1 6 を取り付け、いずれか一方のスナップエレメント 1、2 の基板 3、4 に起倒操作を行うことができる摘み部 8 を設け、対向する他方のスナップエレメント 2、1 の基板 4、3 に一方のスナップエレメント 1、2 の基部 5、5' と当接する受け部 9 を設けたスナップファスナーを主な構成とするものである。



【 0 0 1 7 】

請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成に加え、スナップファスナーのいずれか一方のスナップエレメント 1、2 に設ける摘み部 8 は、係合時に他方のスナップエレメント 2、1 の基板 4、3 の端部または縁部を越えて外方へ突出する形態に形成したスナップファスナーである。

【 0 0 1 8 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成に加え、スナップファスナーの一方のスナップエレメント 1 は、平板状の基板 3 の一端に基部 5 を突設して断面 L 字状を呈する形状に形成し、他方のスナップエレメント 2 は平板状の基板 4 から形成したスナップファスナーである。

【 0 0 1 9 】

請求項 4 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成に加え、スナップファスナーの一对のスナップエレメント 1、2 は、それぞれの基板 3、4 の端部に、係合時に係合相手の基板 4、3 の基部 5、5' よりも突出させて摘み部 8 を設けるとともに、摘み部 8 の内方に受け部 9 を設けたスナップファスナーである。

【 0 0 2 0 】

請求項 5 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成に加え、スナップファスナーの一对のスナップエレメント 1、2 は、それぞれ熱可塑性樹脂を用いて射出成形手段によって、一体成形し、スナップエレメント 1、2 を形成したスナップファスナーである。

【 0 0 2 1 】

請求項 6 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成に加え、スナップファスナーの少なくとも一方のスナップエレメント 1、2 は熱可塑性樹脂を用いて射出成形手段によって一体成形すると同時に、スナップエレメント 1、2 の基板 3、4 の基部 5、5' を被着体 1 6 に成形して取り付けしたスナップファスナーである。

【 0 0 2 2 】

請求項 7 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成に加え、スナップファスナーの少なくとも一方のスナップエレメント 1、2 における基板 3、4 の基部 5、5' に、被着体 1 6 が挿通できる挿通孔 1 2 を備えた取付板 1 1 を基板 3、4 の

基部 5、5' に連設したスナップファスナーである。

【 0 0 2 3 】

請求項 8 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成に加え、スナップファスナーの少なくとも一方のスナップエレメント 1、2 における基板 3、4 の基部 5、5' に、被着体 1 6 が縫着できる取付孔 1 4 を備えた取付部 1 3 を基板 3、4 の基部 5、5' に連設したスナップファスナーである。

【 0 0 2 4 】

請求項 9 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成に加え、一对の被着体 1 6 にスナップファスナーのスナップエレメント 1、2 を所定間隔で対向する形態で多数取り付けたスナップファスナーである。

【 0 0 2 5 】

請求項 1 0 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成に加え、スナップファスナーの一方のスナップエレメント 1 の基板 3 の基部 5 にカーテン 2 4 を取り付け、他方のスナップエレメント 2 の基板 4 の基部 5' にカーテンレール用のランナー 2 5 を取り付けたカーテン用のスナップファスナーである。

【 0 0 2 6 】

請求項 1 1 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の構成に加え、スナップファスナーの各スナップエレメント 1、2 における基板 3、4 の基部 5、5' に取り付けられる被着体 1 6 は、各被着体 1 6 の中心線を同一線上、すなわち同一平面内に配置したスナップファスナーである。

【 0 0 2 7 】

【発明の実施の形態】

以下、この発明のスナップファスナーの実施の形態について、図面を参照しながら具体的に説明する。

【 0 0 2 8 】

この発明のスナップファスナーは、一方のスナップエレメント 1 に係合頭部 6 を形成し、他方のスナップエレメント 2 に係合孔部 7 を形成し、係合頭部 6 と係合孔部 7 とが係脱できる形に形成したスナップファスナーであり、スナップエレメント 1、2 は、ポリアセタール、ポリアミド、ポリプロピレン、ポリブチレン

テレフタレートなどの熱可塑性樹脂を用いて、射出成形加工手段によって、一对の被着体 1 6 に直接成形し、または成形後に取り付けるスナップファスナーである。

#### 【 0 0 2 9 】

図 1 ～ 4 に示す第 1 実施例のスナップファスナーは、テープ 1 7、布帛、シート類 2 0 などの被着体 1 6 の縁部 1 8 にスナップエレメント 1 を射出成形し、スナップエレメント 1 は一方が平板状の基板 3 の裏側の一端に突出状の基部 5 を設けて断面 L 字状に形成し、基板 3 の裏面中央に先端に膨大状の頭部を有する係合頭部 6 を突出状に設け、基部 5 を被着体 1 6 に射出成形により一体的に取り付け、基部 5 と反対側の基板 3 の先端に他方のスナップエレメント 2 と係合したとき、このスナップエレメント 2 の表面と重なり合わない位置へ突出する摘み部 8 を設ける。

#### 【 0 0 3 0 】

他方のスナップエレメント 2 は平板状の基板 4 の基部 5' を被着体 1 6 の縁部 1 8 に射出成形により一体的に取り付け、基板 4 の中央に透孔状の係合孔部 7 を穿設し、係合孔部 7 は側面中央に内方へやや突出する係止突部 1 0 を設けて、断面形状が膨大状の係合頭部 6 を係止する。また基板 4 の取り付け側すなわち基部 5' と反対側にやや斜め下方へ突出する舌片状の受け部 8 を設けて、一方のスナップエレメント 1 の基板 4 の基部 5 を受け支えることができる。

#### 【 0 0 3 1 】

一方のスナップエレメント 1 と他方のスナップエレメント 2 とを係合頭部 6 と係合孔部 7 とによって図 3 に示すように係合させたとき、左右の被着体 1 6 としてのテープ 1 7 は厚み方向の中心線が同一平面内に配される。この係合時から係合頭部 6 と係合孔部 7 とを離脱させるには、図 4 に示すように一方のスナップエレメント 1 に形成した摘み部 8 を指で引き起こすと、摘み部 8 と反対側の基部 5 が相手方の受け部 9 によって支えられ、基部 5 と受け部 9 の当接する部分を中心にスナップエレメント 1 がスナップエレメント 2 に対して傾動する。その結果係合頭部 6 が係合孔部 7 より離れる方向に移動し、係合頭部 6 と係合孔部 7 の離脱がスムーズに行える。

## 【 0 0 3 2 】

図 5 に示す第 2 実施例のスナップファスナーは、左右一対の被着体 1 6 としてのテープ 1 7 の縁部 1 8 に所定間隔ごとにスナップエレメント 1、2 を射出成形により一体的に取り付けたスナップファスナーであり、衣服の前立てやポケット 3 0、あるいはブーツなどの履物に用い、スナップエレメント 1 は 1 個 1 個手動によって係脱させる。

## 【 0 0 3 3 】

図 6 に示す第 3 実施例のスナップファスナーは、基板 4 に係合孔部 7 を備えたスナップエレメント 2 を射出成形により基部 5' に被着体 1 6 としてのテープ 1 7 を一体的に取り付け、その反対側に他方のスナップエレメント 1 の基部 5 を越えて外方へ突出する摘み部 8 を基板 4 の端部に形成し、基板 3 に係合頭部 6 を備えたスナップエレメント 1 は、テープ 1 7 へ射出成形により基板 3 の基部 5 を一体的に取り付け、基部 5 と反対側に係合相手のスナップエレメント 2 の基板 4 の基部 5' と当接し、受け支えることができる受け部 9 が形成されている。このタイプのスナップファスナーは係脱操作の際、係脱を直接目視して操作ができ便利なスナップファスナーである。

## 【 0 0 3 4 】

図 7 に示す第 4 実施例のスナップファスナーは、一方のスナップエレメント 1 の基板 3 の裏面中央に係合頭部 6 を突設し、基板 3 の基部 5 と反対側の先端に摘み部 8 を形成する。他方のスナップエレメント 2 の基板 4 の中央に透孔状の係合孔部 7 を設けるとともに、基板 4 の基部 5' にテープ 1 7 を取り付け、この基部 5' と反対側に係合相手のスナップエレメント 1 の基部 5 と当接し、かつ受け支える舌片形の受け部 9 を突設し、この受け部 9 の先端は相手の基板 3 の基部 5 を越えて外方へ突出して摘み部 8 を形成する。

## 【 0 0 3 5 】

このタイプのスナップファスナーは、一方のスナップエレメント 1 に摘み部 8 を設けるとともに摘み部 8 と係合頭部 6 の間の基板 3 に、他方のスナップエレメント 2 の基部 5' を受け支える受け部 9 を形成し、また他方のスナップエレメント 2 にも摘み部 8 と受け部 9 が形成されているので、表裏いずれ側が表面に配さ

れてもスナップエレメント 1、2 の係脱操作が容易に行うことができる便利なスナップファスナーである。

#### 【 0 0 3 6 】

図 8、9 に示す第 5 実施例のスナップファスナーは、一方のスナップエレメント 1 の基板 3 の基部 5 を被着体 1 5 としてのテープ 1 7 の縁部 1 8 に射出成形により一体的に取り付け、この基板 3 の先端側に基板 3 の長手方向と直交する方向へ突出する摘み部 8 を突設し、基板 3 の裏面中央に係合頭部 6 を突設する。また他方のスナップエレメント 2 の基板 4 の基部 5' をテープ 1 7 の縁部 1 8 に射出成形により一体的に取り付け、基板 4 の中央に、内側面に係止突部 1 0 を備えた係合孔部 7 を設け、基板 4 の先端には相手方のスナップエレメント 1 の基部 5 と当接して受け支えることができる受け部 9 が形成されている。このタイプのスナップファスナーは、一方のスナップエレメント 1 に形成された摘み部 8 を指で引き起こすと基部 5 が相手方のスナップエレメント 1 の受け部 9 に支えられ係合頭部 6 が係合孔部 7 よりスムーズに抜脱できる。

#### 【 0 0 3 7 】

図 1 0、1 1 に示す第 6 実施例のスナップファスナーは、一方のスナップエレメント 1 は基板 3 の裏面中央に係合頭部 6 を突設し、基板 3 の先端にやや上向きに反り返った摘み部 8 を設け、他端の基部 5 の略中央から横方向へ突出する板状の取付板 1 1 を連設し、この取付板 1 1 に被着体 1 6 としてのベルトや吊り紐 1 9 を挿通可能な挿通孔 1 2 を 2 条穿設する。他方のスナップエレメント 2 の基板 4 の中央に係合孔部 7 を設け、基板 4 の先端下辺から外方へ突出する舌片状の受け部 9 を設け、基板 4 の基部 5' の上辺先端に外方へ突出する板状の取付板 1 1 を連設し、この取付板 1 1 にベルトや吊り紐 1 9 を挿通させるための挿通孔 1 2 を 2 条設け、挿通孔 1 2 に挿通されたベルトや吊り紐 1 9 などの被着体 1 6 は、厚み方向の中心線が同一平面内に配されるように取り付けられる。

#### 【 0 0 3 8 】

このタイプのスナップファスナーは、ベルトや吊り紐 1 9 を取付板 1 1 に設けた挿通孔 1 2 に対し、ベルトや吊り紐 1 9 の長さ調整ができる状態で挿通して使用する。なお取付板 1 1 に設ける挿通孔 1 2 は 1 個であってもよく、この場合ベ



ルトや吊り紐 1 9 は挿通孔 1 2 に挿通後、ベルトや吊り紐 1 9 の端部を固定して取り付ける。

【 0 0 3 9 】

図 1 2、1 3 に示す第 7 実施例のスナップファスナーは、一方のスナップエレメント 1 は基板 3 の裏面中央に係合頭部 6 を突設し、基板 3 の先端には摘み部 8 を形成し、他端の基部 5 の中央から外方へ突出する取付部 1 3 を連設し、この取付部 1 3 には被着体 1 6 として布帛、シート 2 0 などを挟み込むことができる取付溝 1 5 を設け、かつ取付部 1 3 には被着体 1 6 の布帛、シート 2 0 などを縫着して取り付けるための取付孔 1 4 を 2 個設け、取付溝 1 5 に被着体 1 6 を挟み込んで縫糸 2 1 によって縫着する。

【 0 0 4 0 】

他方のスナップエレメント 2 は平板状の基板 4 の中央に、係止突部 1 0 のある係合孔部 7 を設け、基板 4 の先端下辺から外方へ突出する受け部 9 を設け、基板 4 の他端の基部 5' から外方へ突出する板状の取付部 1 3 を連設し、この取付部 1 3 には被着体 1 6 としての布帛やシート 2 0 を挟み込むことができる取付溝 1 5 が設けられ、さらに取付部 1 3 には被着体 1 6 の布帛、シート 2 0 を縫着することができる取付孔 1 4 が 2 個設けられ、取付溝 1 5 に被着体 1 6 を挟み込んで縫糸 2 1 によって縫着する。取付溝 1 5 に布帛やシート 2 0 などを挟み込んで縫着した被着体 1 6 は、厚み方向の中心線が同一平面内に配されるように取り付けられる。なお取付部 1 3 は、単板で形成して被着体 1 5 を取り付けることもできる。

【 0 0 4 1 】

図 1 4、1 5 に示す第 8 実施例のスナップファスナーは、室内用のカーテンに応用した例であり、被着体 1 6 としてのカーテン 2 4 の縁部 1 8 に所定間隔で透孔 2 9 を設け、この透孔 2 9 に基板 3 の基部 5 が配される形で射出成形して一方のスナップエレメント 1 を取り付け、基板 3 の裏面中央に係合頭部 6 を突設し、基板 3 の端部には先端がやや反り返った摘み部 8 が形成されている。

【 0 0 4 2 】

室内に取り付けられるカーテンレール 2 7 は T 形の摺動溝 2 8 が形成され、こ

の摺動溝 2 8 に嵌挿されるランナー 2 5 は、他方のスナップエレメント 2 の基部 5' に被着体 1 6 として取り付けられ、このスナップエレメント 2 は平板状の基板 4 の中央に係合孔部 7 を設け、基板 4 の基部 5' に支軸 2 6 を突設し、この支軸 2 6 に円板状のランナー 2 5 を配した形にスナップエレメント 2 を一体成形して形成し、ランナー 2 5 をカーテンレール 2 7 の摺動溝 2 8 に摺動自在に嵌挿して垂下し、このスナップエレメント 2 の係合孔部 7 に、カーテン 2 4 に装着したスナップエレメント 1 の係合頭部 6 を係合させてカーテン 2 4 を垂設したものであり、支軸 2 6 の中心線とカーテン 2 4 の厚み方向の中心線とは同一線上に配置されている。。

## 【 0 0 4 3 】

図 1 6、1 7 はスナップファスナーの使用態様を示し、図 1 6 においては一对のスナップエレメント 1、2 を履物のサンダル 2 2 に装備されたバンド 2 3 の先端に一方のスナップエレメント 1 を取り付け、他方のスナップエレメント 2 をサンダル 2 2 の本体に取り付けて使用する。また図 1 7 においては複数個のスナップエレメント 1、2 を備えたスナップファスナーを衣服のポケット 3 0 の開口部 3 1 に対向状に取り付けて使用する例である。

## 【 0 0 4 4 】

この発明は、上記各実施例に限定されるものではなく、たとえば基板は平板状に限らず表面中央が盛り上がった形状に形成してもよく、また基板の全体の形状も長方形に限らず円形や多角形であってもよい。さらに係合頭部と係合孔部の数を複数個設けてもよい。

## 【 0 0 4 5 】

## 【発明の効果】

この発明のスナップファスナーは、以上説明したとおりの構成であり、この構成によって下記の効果を奏する。

## 【 0 0 4 6 】

この発明のうち請求項 1 記載の発明は、対面方向に係脱自在な一对のスナップエレメントは、一方のスナップエレメントの基板に係合頭部を突設し、他方のスナップエレメントの基板に係合頭部が係合可能な係合孔部を穿設し、各基板の基



部に被着体を取り付け、いずれか一方のスナップエレメントに摘み部を設け、他方のスナップエレメントに一方のスナップエレメントの基部と当接する受け部を設けたことによって、スナップエレメントの係合頭部と係合孔部とを係合させたとき、一方のスナップエレメントの摘み部と、他方のスナップエレメントの受け部とにより、スナップエレメントの係合離脱がきわめて簡易に、しかも的確に抜脱させることができる効果がある。

## 【 0 0 4 7 】

請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の効果に加え、いずれか一方のスナップエレメントに設ける摘み部は、他方のスナップエレメントの基板の端部または縁部を越えて外方へ突出する形に形成したことによって、摘み部を指で容易に引っ掛けて起こすことができ、スナップファスナーの抜脱操作が簡易に行うことができる効果がある。

## 【 0 0 4 8 】

請求項 3 の発明は、請求項 1 記載の発明の効果に加え、一方のスナップエレメントは平板状の基板の一端に基部を突設した断面 L 字状を呈し、他方のスナップエレメントは平板状の基板から形成したことによって、スナップファスナーとしての係脱機構である係合頭部と係合孔部とを、それぞれのスナップエレメントに理想的な形で簡易に設置することができ、優れた係脱機能を発揮させることができる効果がある。

## 【 0 0 4 9 】

請求項 4 の発明は、請求項 1 記載の発明の効果に加え、一対のスナップエレメントは、それぞれの基板の端部に、係合相手の基板の基部よりも突出させて摘み部を設けるとともに、その内方に受け部を設けたことによって、1 個のスナップエレメントに摘み部と受け部とが設けられているため、摘み機能と受け機能とを簡単な機構で兼用できる効果がある。

## 【 0 0 5 0 】

請求項 5 および 6 の発明は、それぞれ請求項 1 記載の発明の効果に加え、一対のスナップエレメントは、それぞれ熱可塑性樹脂を用いて射出成形手段によって一体成形し、また少なくとも一方のスナップエレメントは熱可塑性樹脂を用いて

射出成形手段によって成形すると同時に、基板の基部を被着体に成形して取り付けることによって、簡単にスナップエレメントを作製することができ、しかもスナップエレメントの基部を簡易に被着体に取り付けることができる。さらにスナップエレメントを作製と同時に、スナップエレメントの基部を被着体に取り付けることができるスナップファスナーが得られる効果がある。

【 0 0 5 1 】

請求項 7 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の効果に加え、少なくとも一方のスナップエレメントにおける基板の基部に、被着体が挿通可能な挿通孔を備えた取付板を連設したことによって、被着体としてベルトや吊り紐などを用い、スナップエレメントの基部に簡単にベルトや吊り紐などを取り付けることができる便利なスナップファスナーが得られる効果がある。

【 0 0 5 2 】

請求項 8 の発明は、請求項 1 記載の発明の効果に加え、少なくとも一方のスナップファスナーにおける基板の基部に、被着体が縫着可能な取付孔を備えた取付部を接続したことによって、スナップエレメントに各種の被着体たとえば布帛、シートなどを簡単に縫着することができる便利なスナップファスナーが得られる効果がある。

【 0 0 5 3 】

請求項 9 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の効果に加え、一对の被着体に所定間隔で対向してスナップエレメントを多数取り付けたことによって、長尺状のスナップファスナーを簡単に作製することができ、各種形態の商品に迅速に適用でき、しかも在庫管理が容易である効果がある。

【 0 0 5 4 】

請求項 1 0 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の効果に加え、一方のスナップエレメントの基板の基部にカーテンを取り付け、他方のスナップエレメントの基板の基部にカーテンレール用のランナーを取り付けたことによって、スナップエレメントを簡単にカーテン装置に適用することができ、カーテンの取り替えなどに便宜が図れる効果がある。

【 0 0 5 5 】

請求項 1 1 記載の発明は、請求項 1 記載の発明の効果に加え、スナップエレメントの基板の基部に取り付けられる被着体は、各被着体の中心線を同一線上に配置したことによって、同一面にある一対の被着体にスナップエレメントを容易に取り付けることができ、体裁のよいスナップファスナーに仕上げられる効果があるなど、この発明が奏する効果はきわめて顕著である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

第 1 実施例のスナップエレメントの離脱状態を示す斜視図である。

【図 2】

同上スナップエレメントの離脱状態における横断面図である。

【図 3】

同上スナップエレメントの係合状態における横断面図である。

【図 4】

同上スナップエレメントの抜脱操作時の作動を示す横断面図である。

【図 5】

第 2 実施例のスナップファスナーの正面図である。

【図 6】

第 3 実施例のスナップエレメントの係合状態における横断面図である。

【図 7】

第 4 実施例のスナップエレメントの係合状態における横断面図である。

【図 8】

第 5 実施例のスナップエレメントの係合状態における正面図である。

【図 9】

同上スナップエレメントの係合時の横断面図である。

【図 1 0】

第 6 実施例のスナップエレメントの離脱状態における斜視図である。

【図 1 1】

同上スナップエレメントの係合状態における横断面図である。

【図 1 2】

第 7 実施例のスナップエレメントの離脱状態における斜視図である。

【図 1 3】

同上スナップエレメントの係合状態における横断面図である。

【図 1 4】

第 8 実施例のスナップファスナーを用いたカーテン装置の分解斜視図である。

【図 1 5】

同上スナップエレメントの係合状態における横断面図である。

【図 1 6】

スナップファスナーをサンダルに用いた斜視図である。

【図 1 7】

スナップファスナーを衣服のポケットに用いた斜視図である。

【図 1 8】

公知のスナップボタンの横断面図である。

【図 1 9】

他の公知のスライドファスナーの正面図である。

【符号の説明】

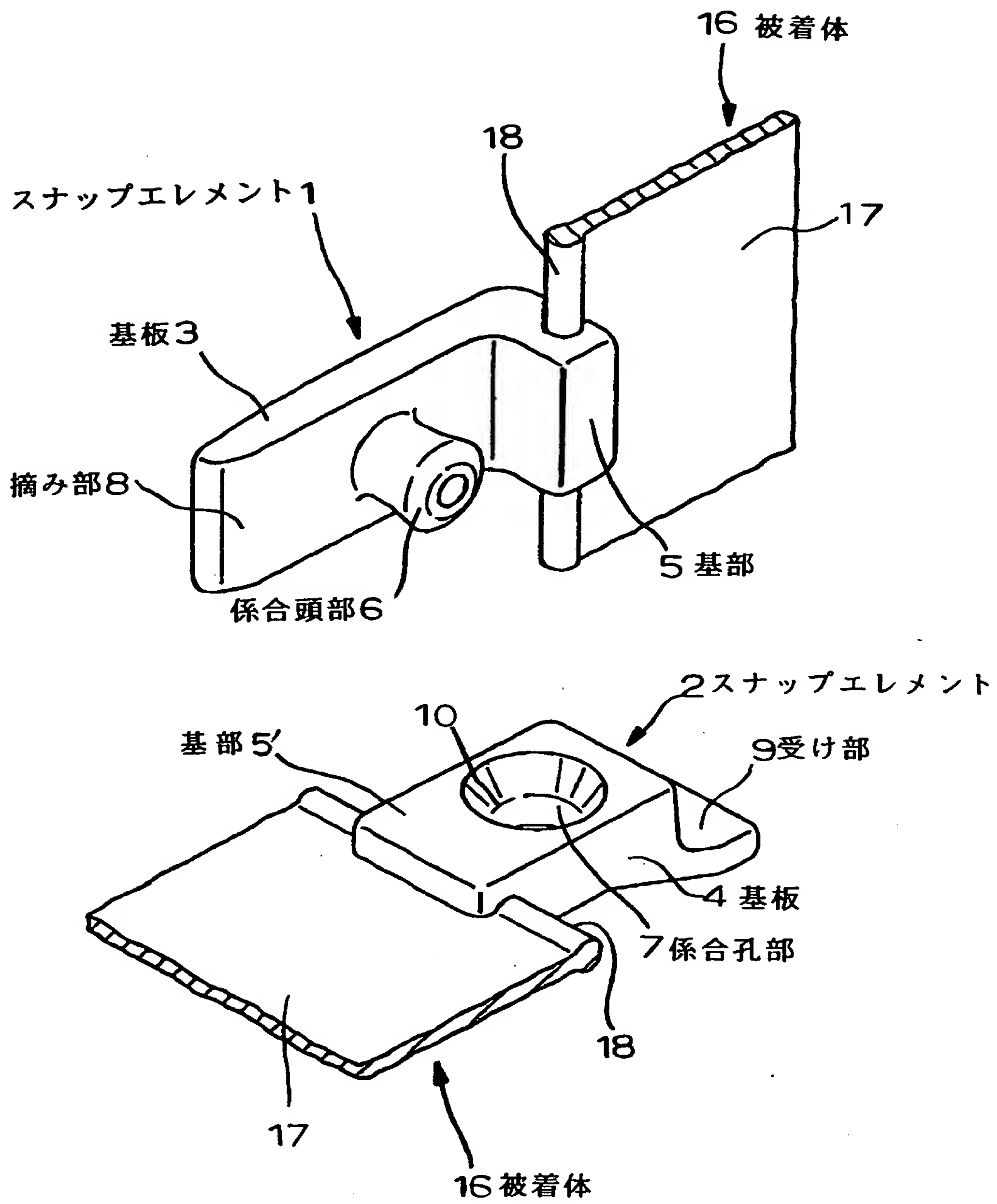
1	スナップエレメント
2	スナップエレメント
3	基板（スナップエレメント 1）
4	基板（スナップエレメント 2）
5	基部（スナップエレメント 1）
5'	基部（スナップエレメント 2）
6	係合頭部
7	係合孔部
8	摘み部
9	受け部
1 1	取付板
1 2	挿通孔
1 3	取付部

特 2 0 0 0 - 3 6 5 6 8 5

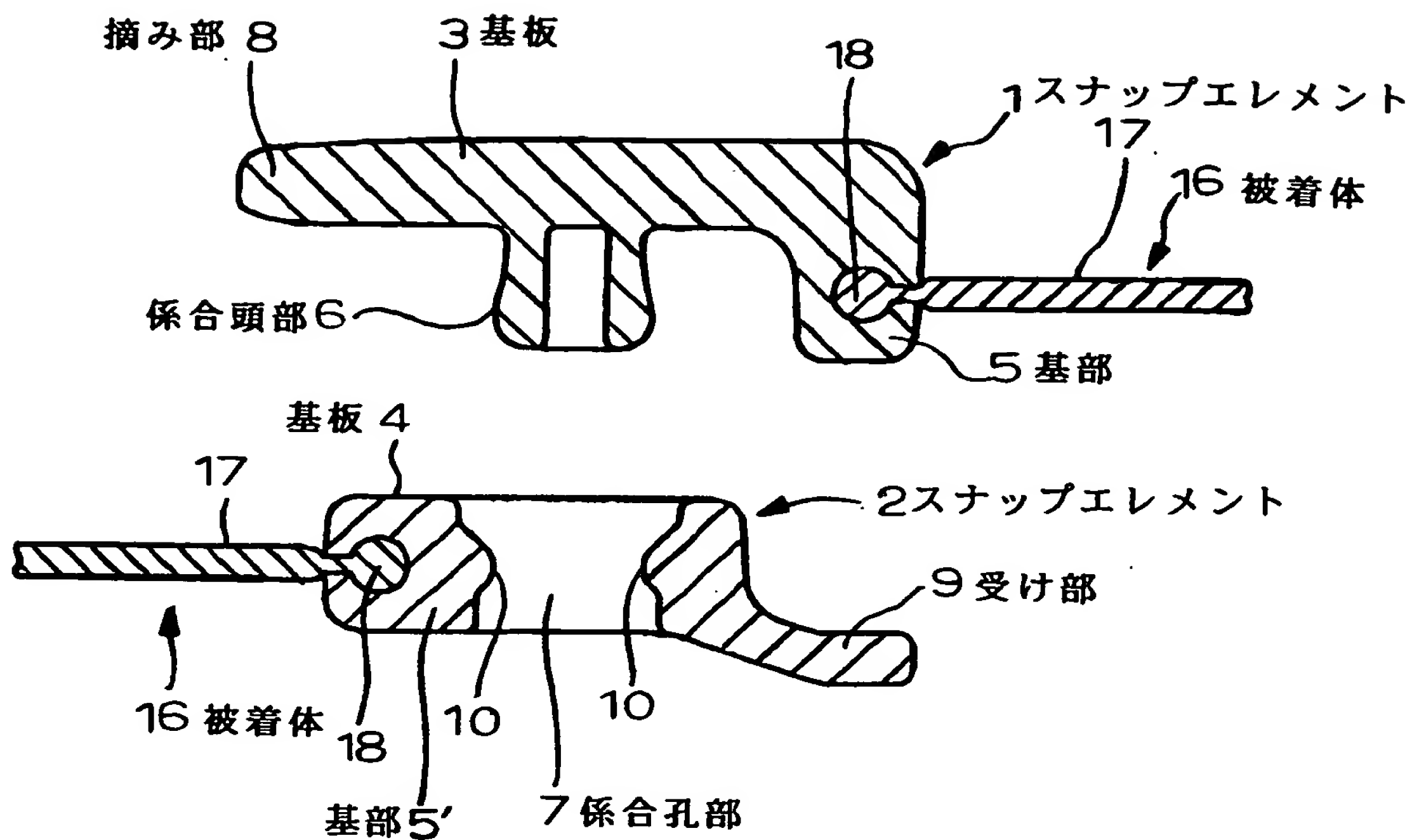
1 4	取付孔
1 6	被着体
2 4	カーテン
2 5	ランナー

【書類名】 図面

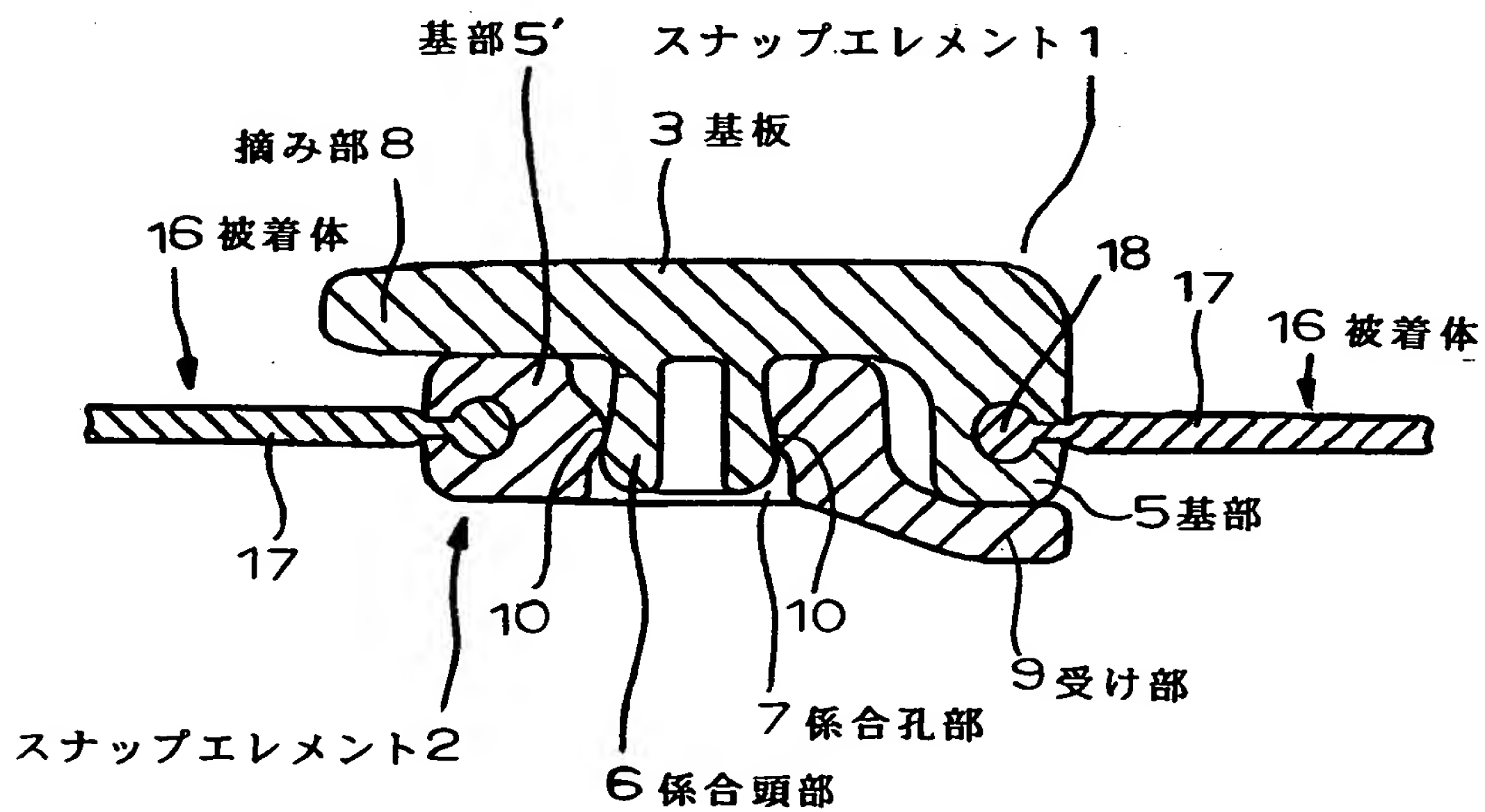
【図1】



【図2】



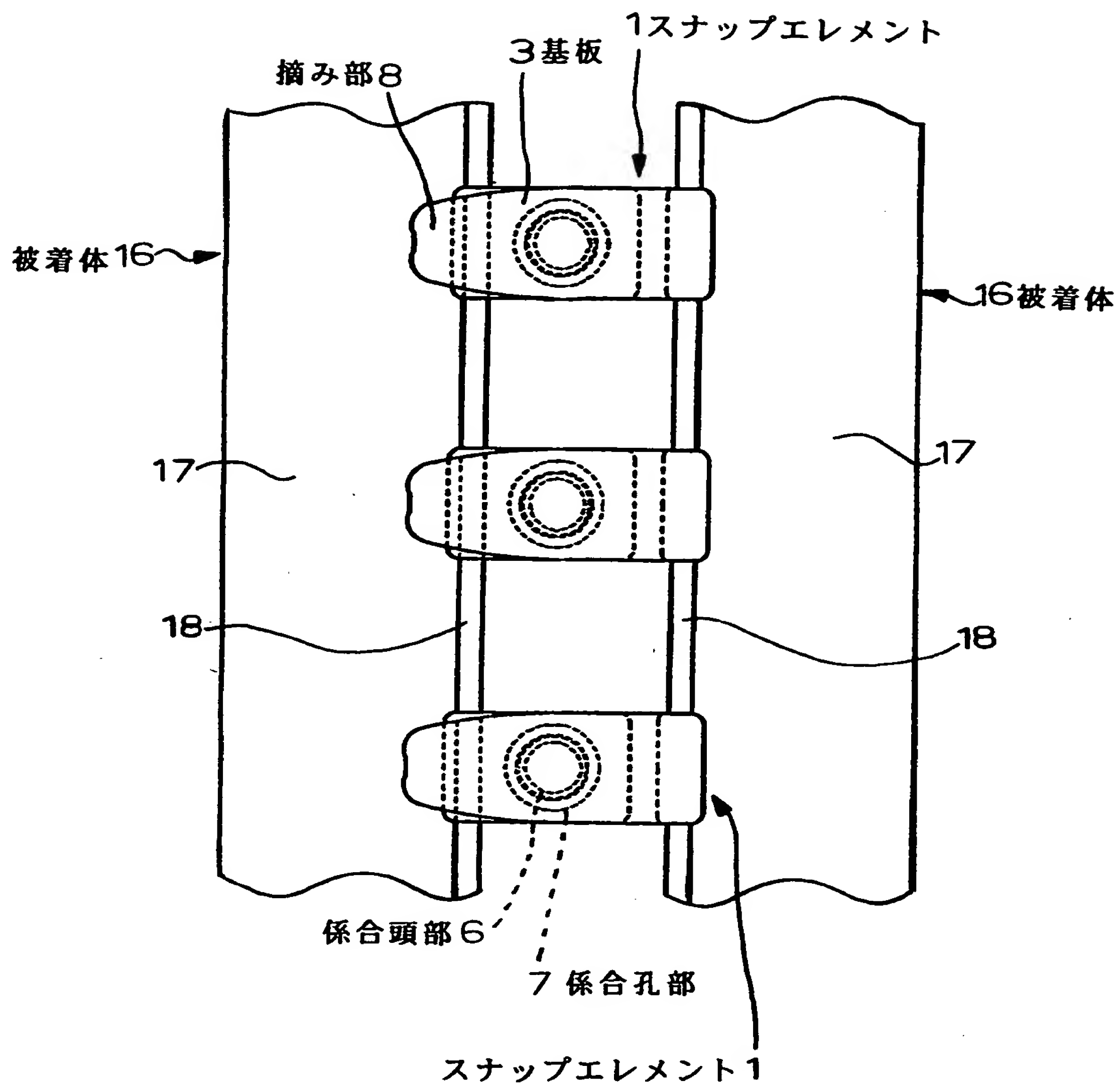
【図3】



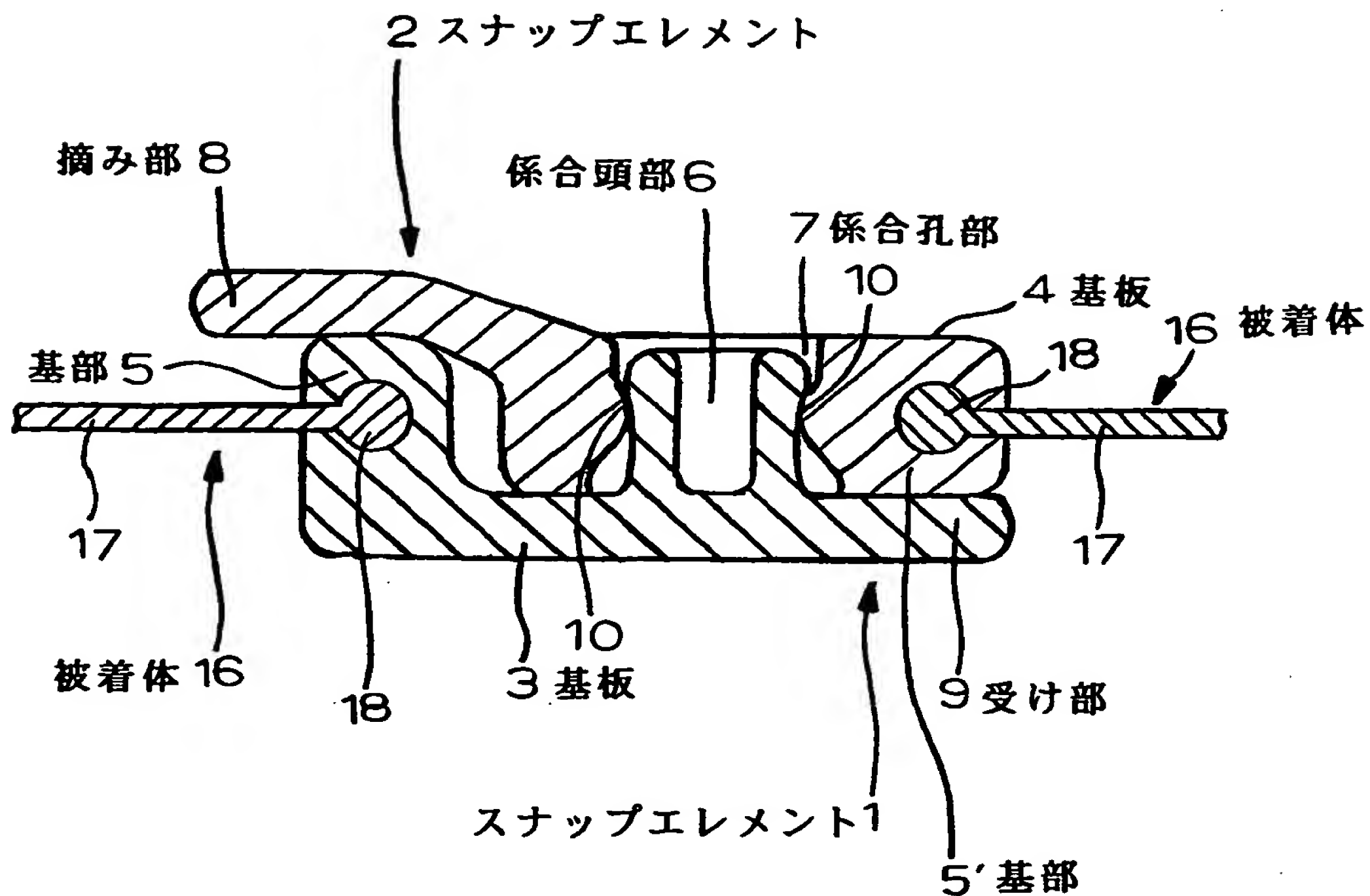




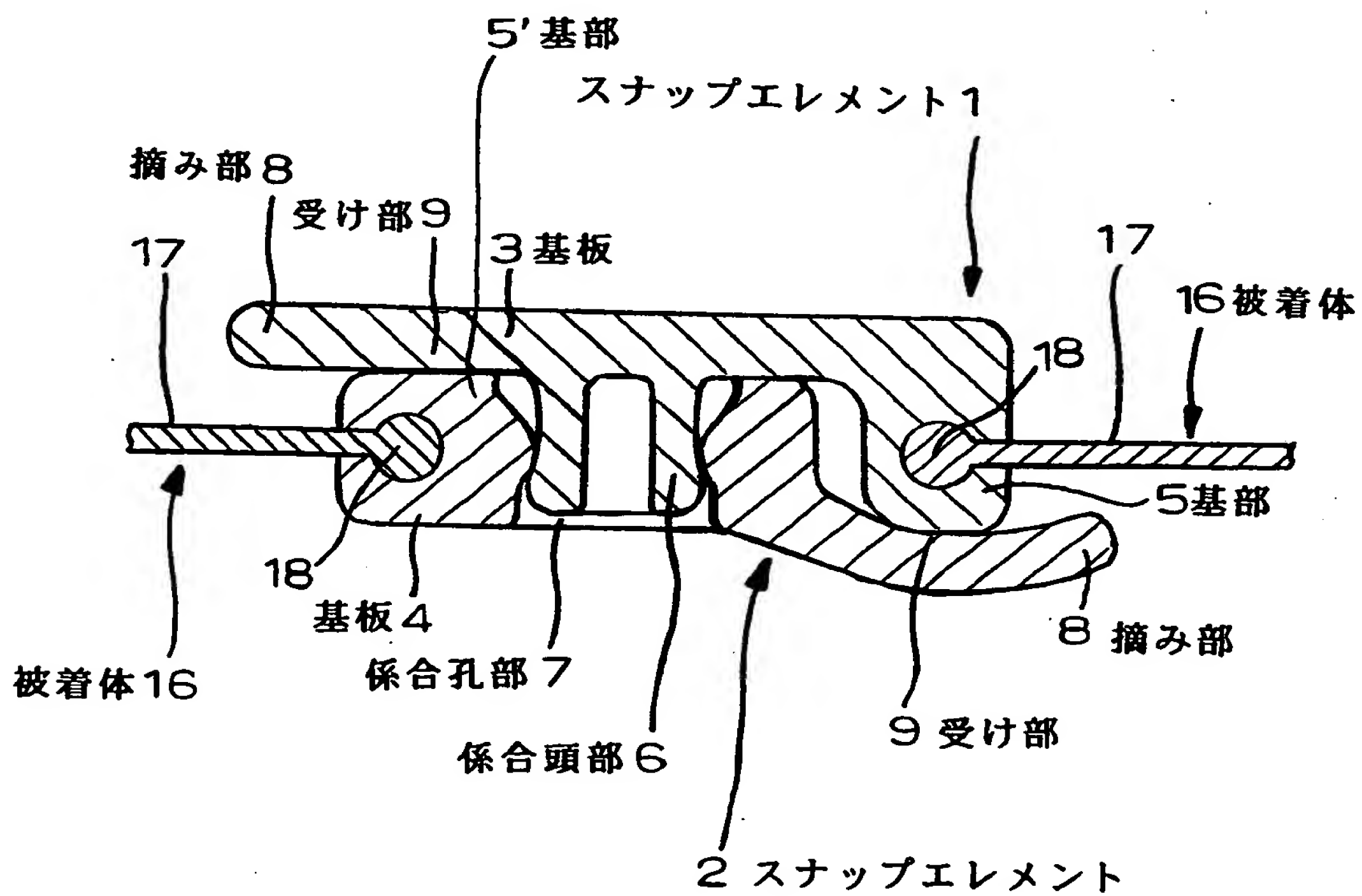
【図 5】



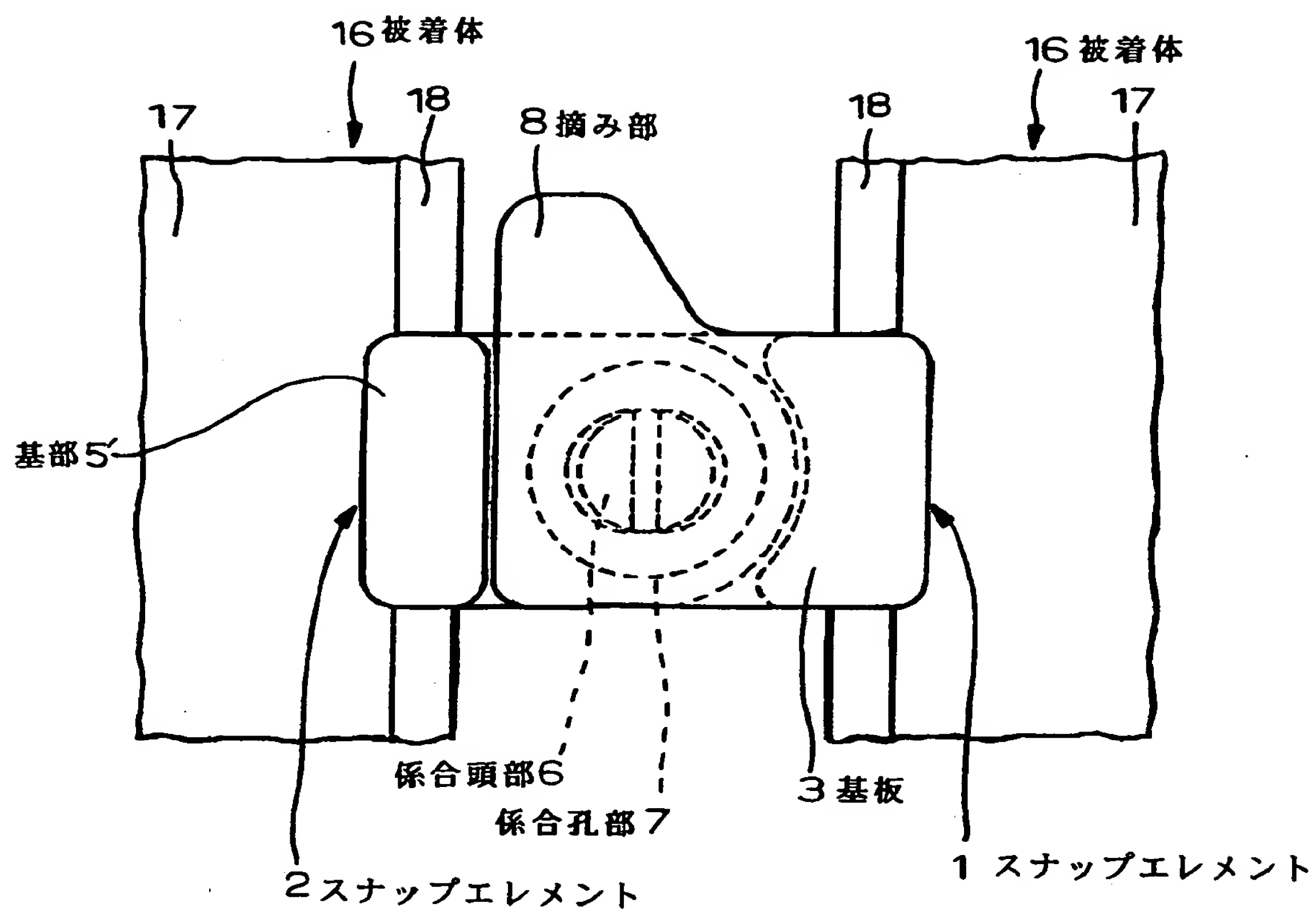
【図 6】



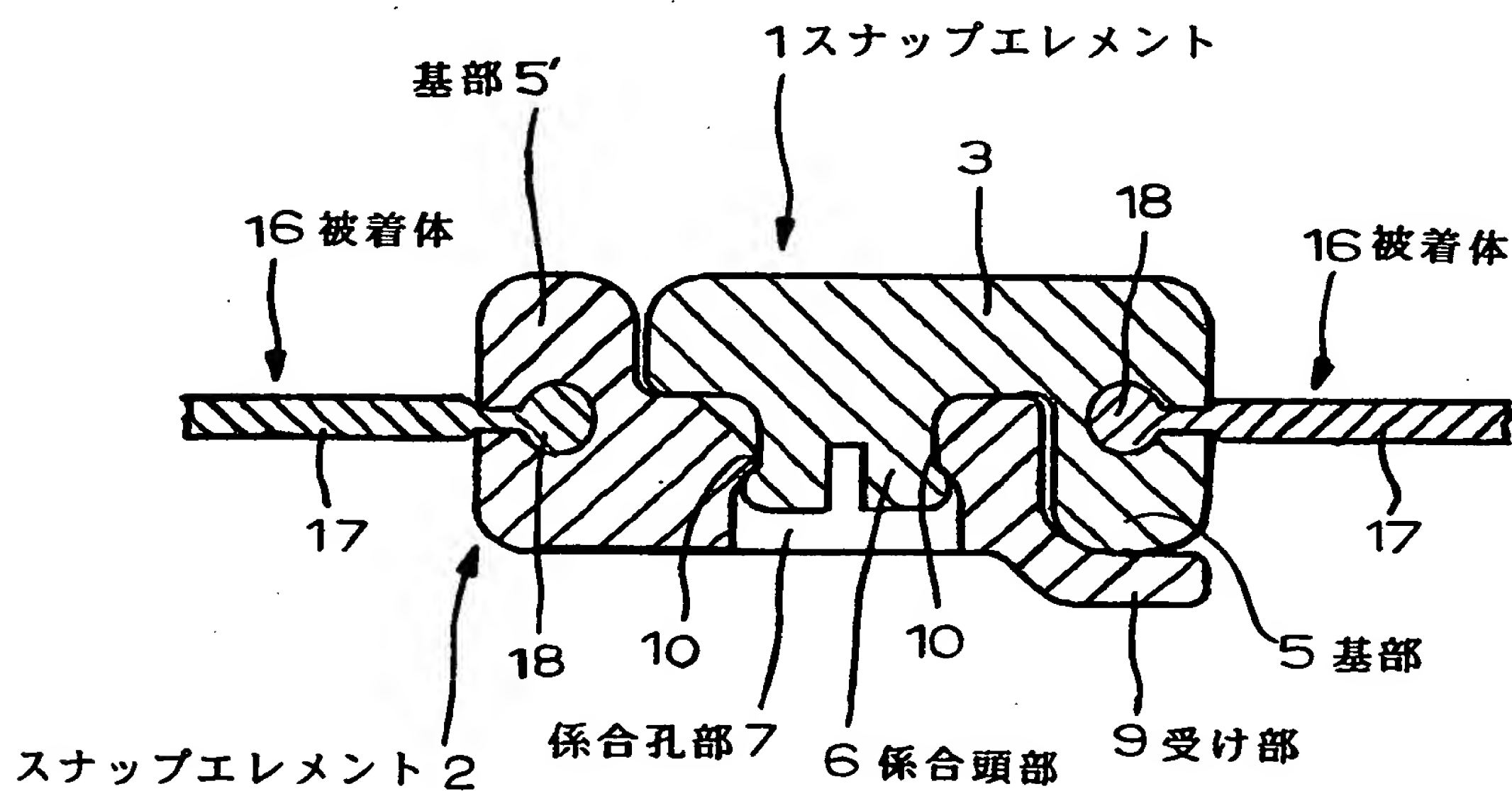
【図 7】

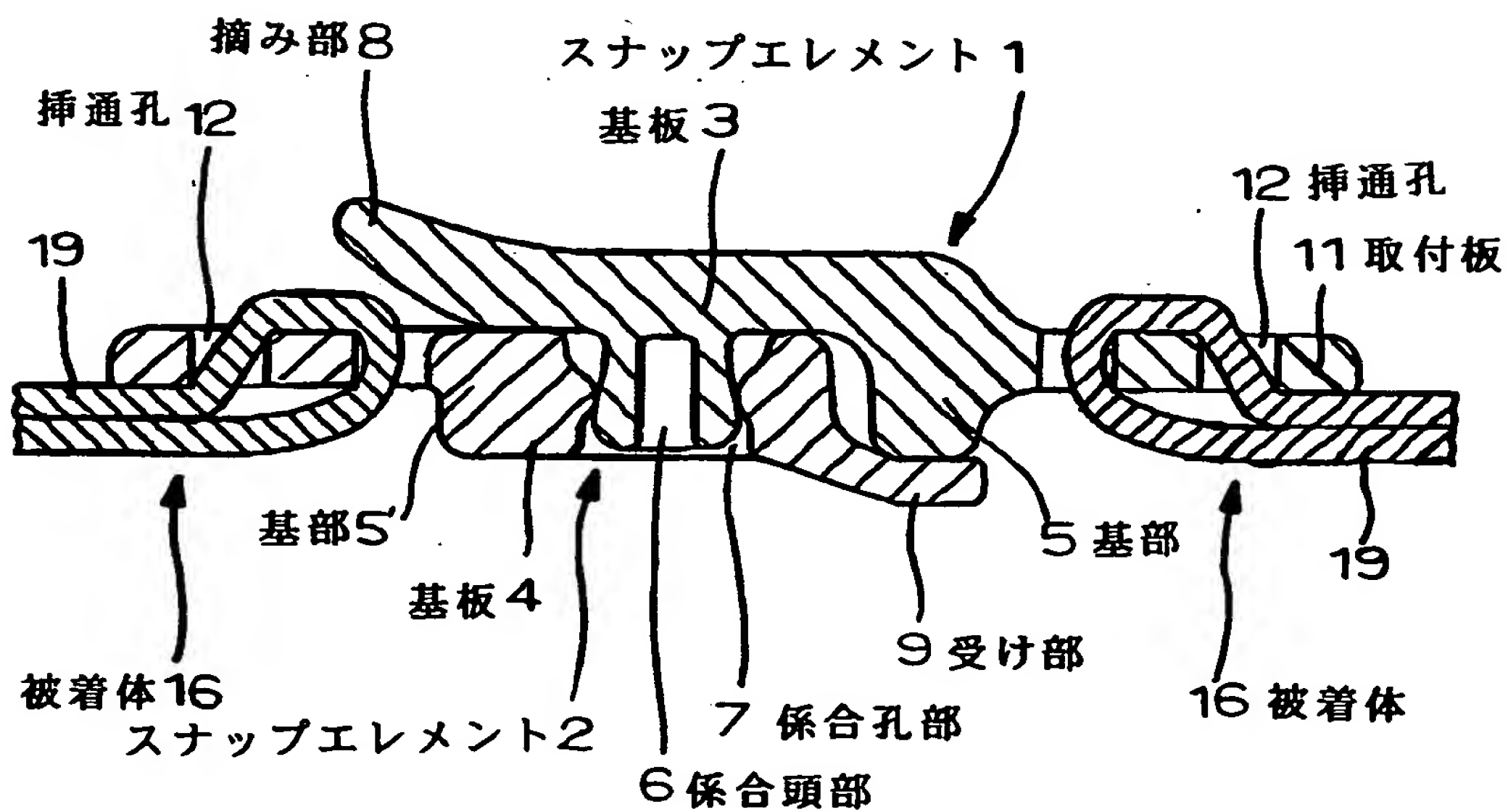
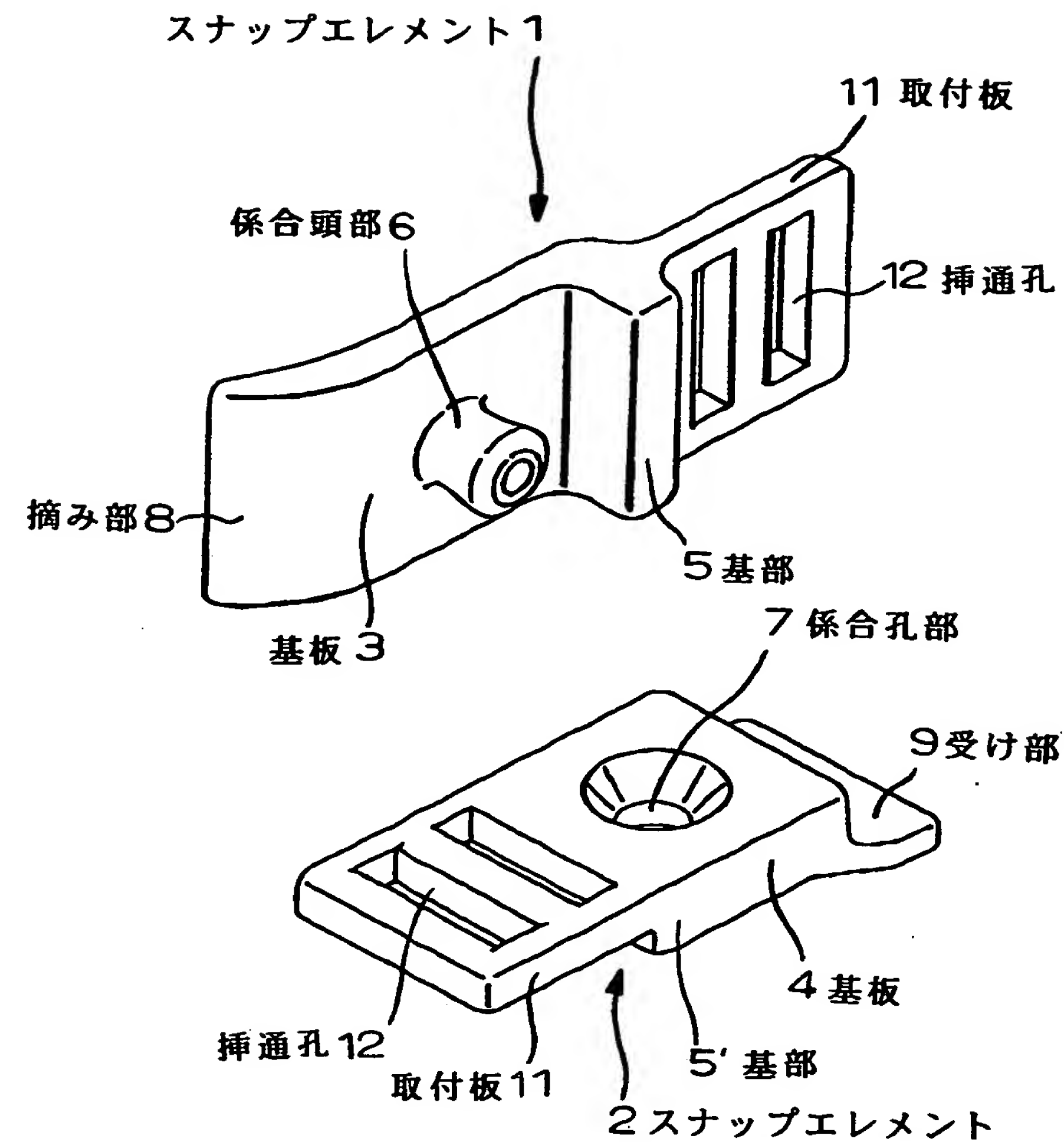


【圖 8】

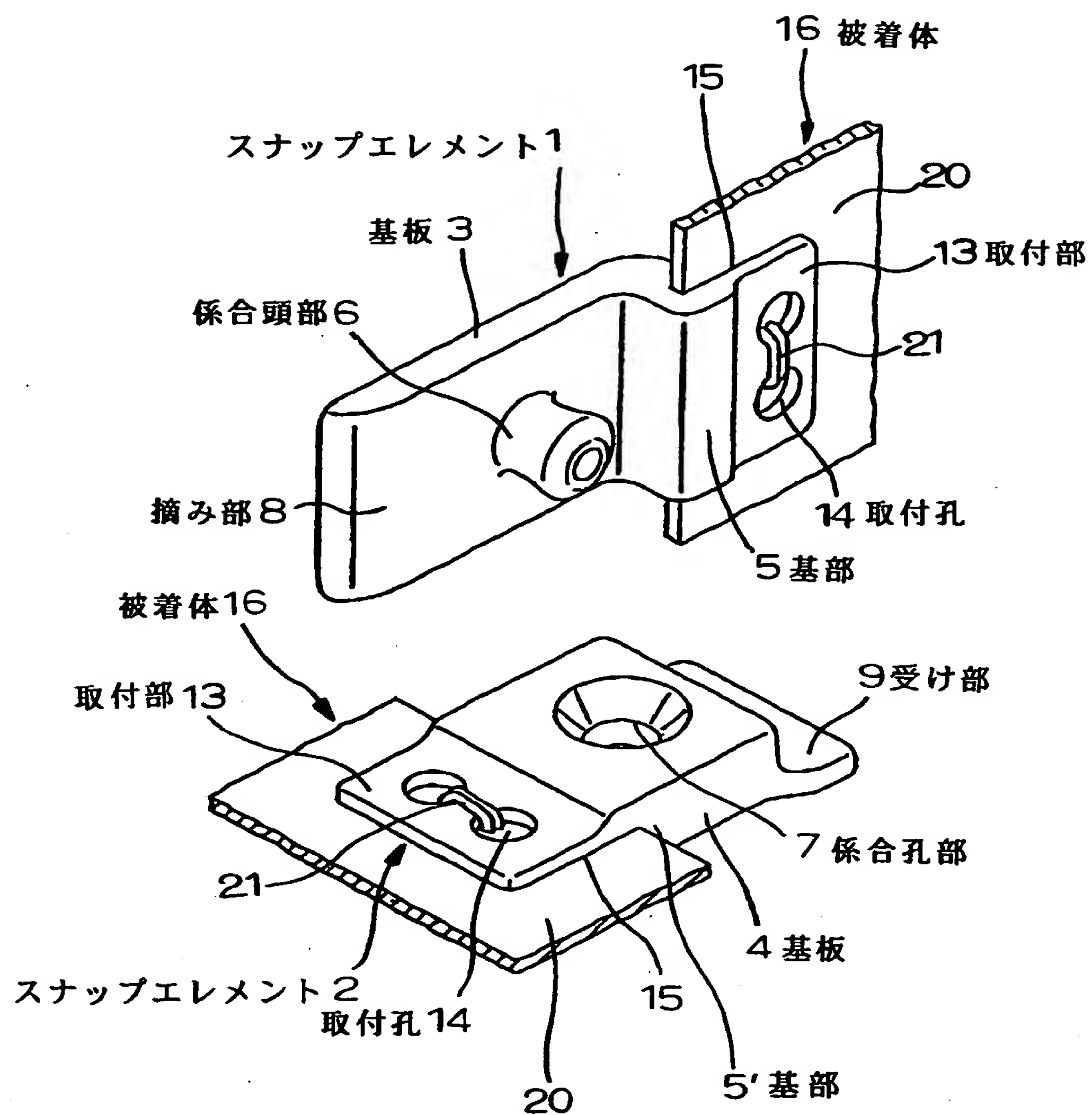


【图9】

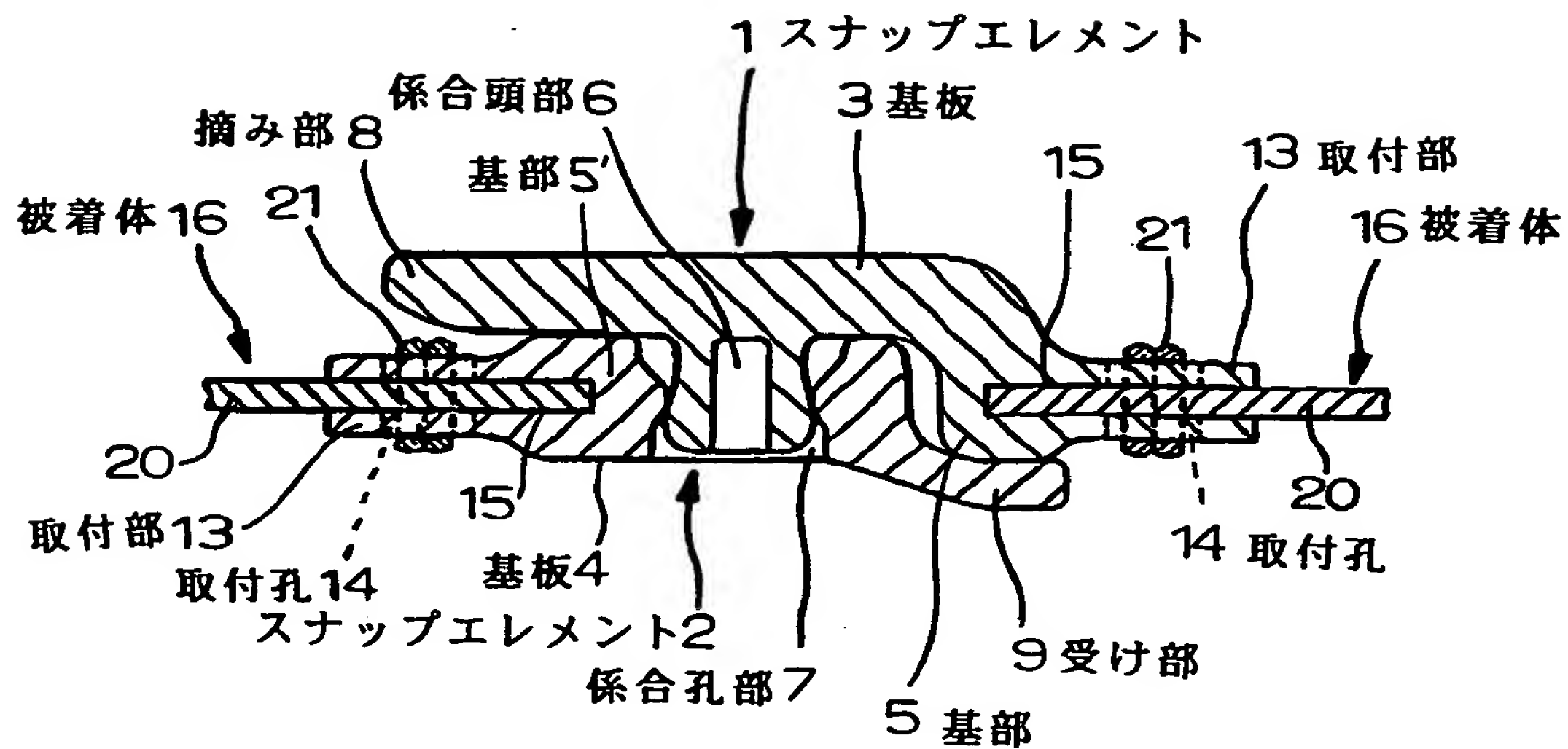




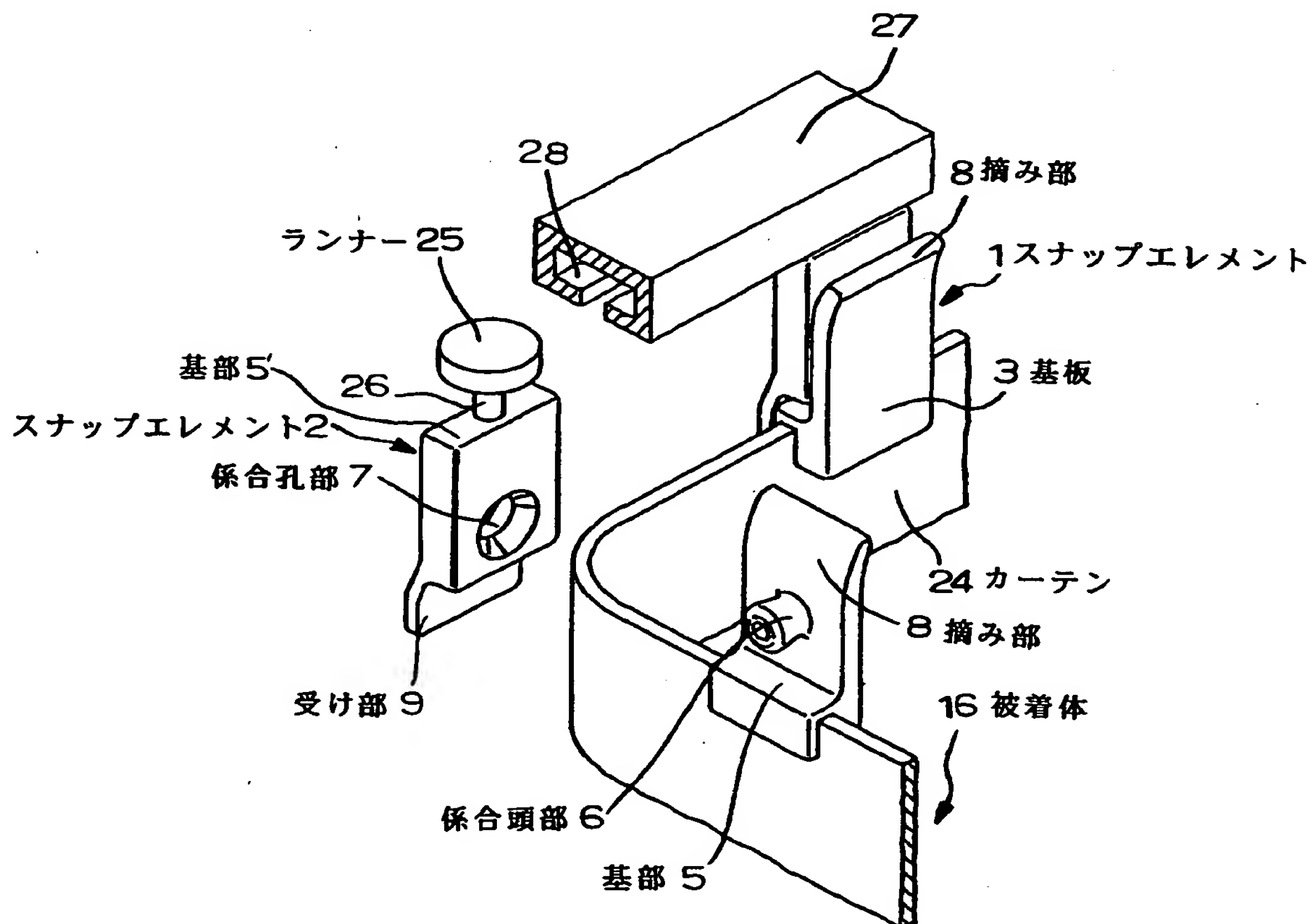
【圖 12】



【図 13】

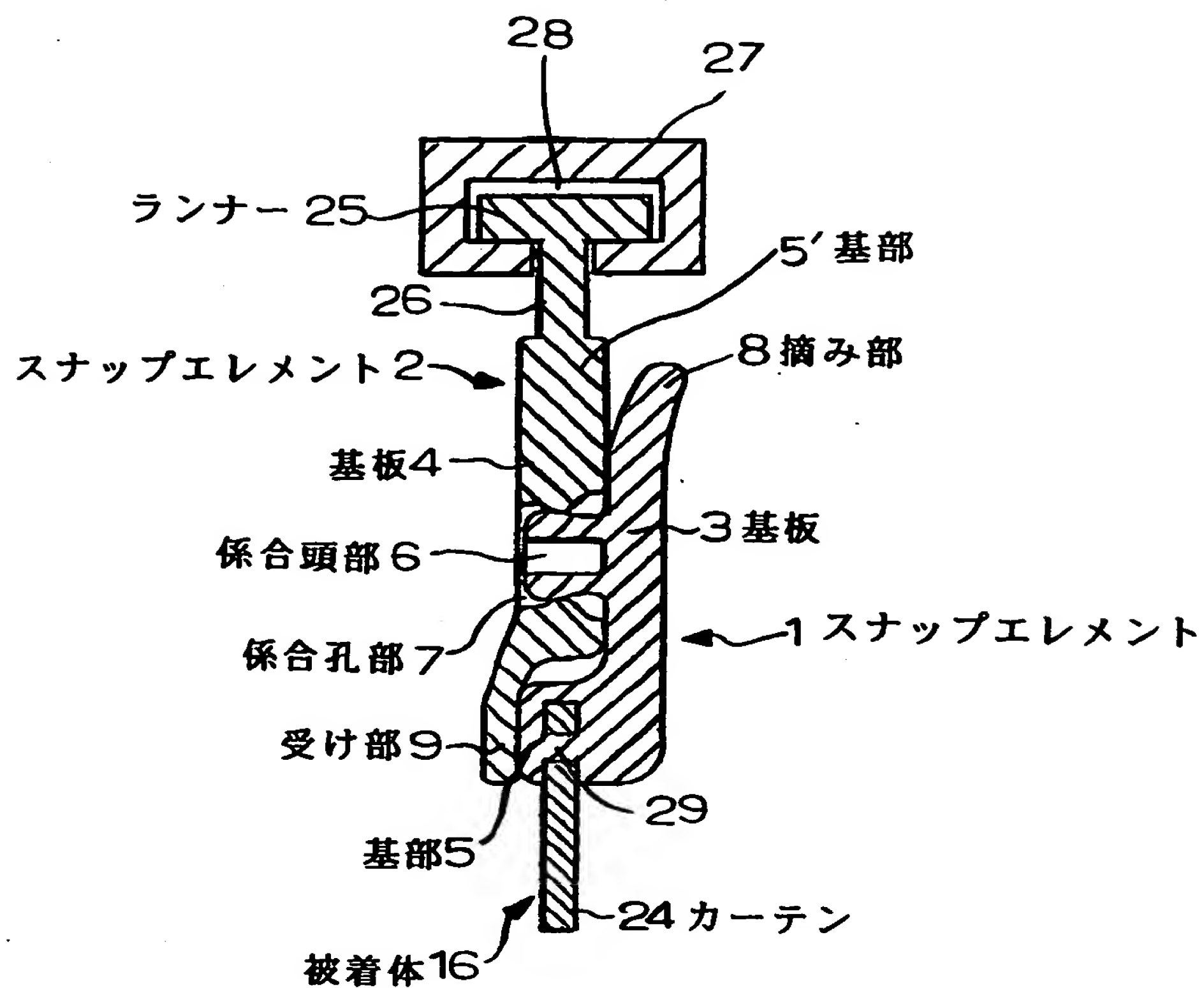


【図 14】

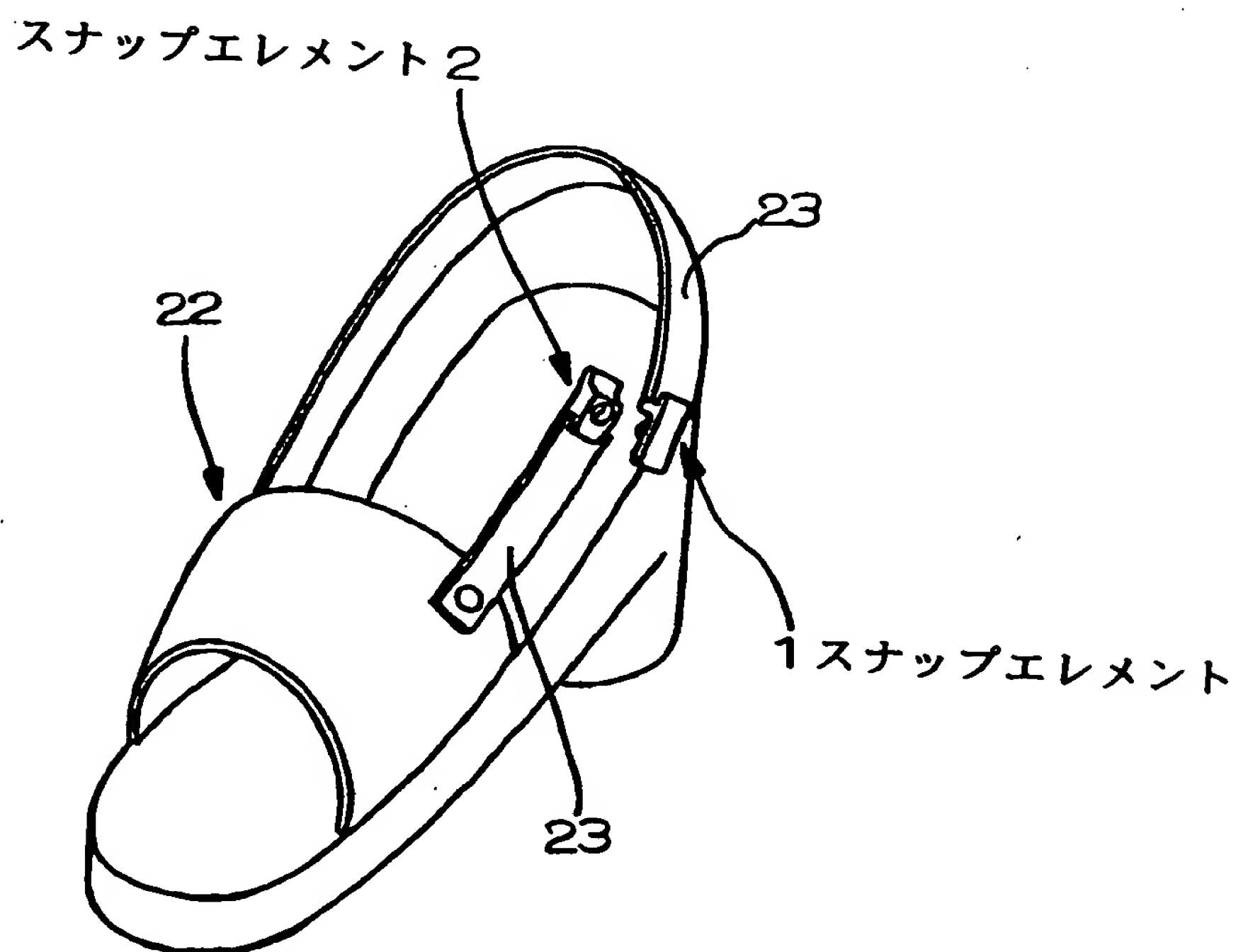




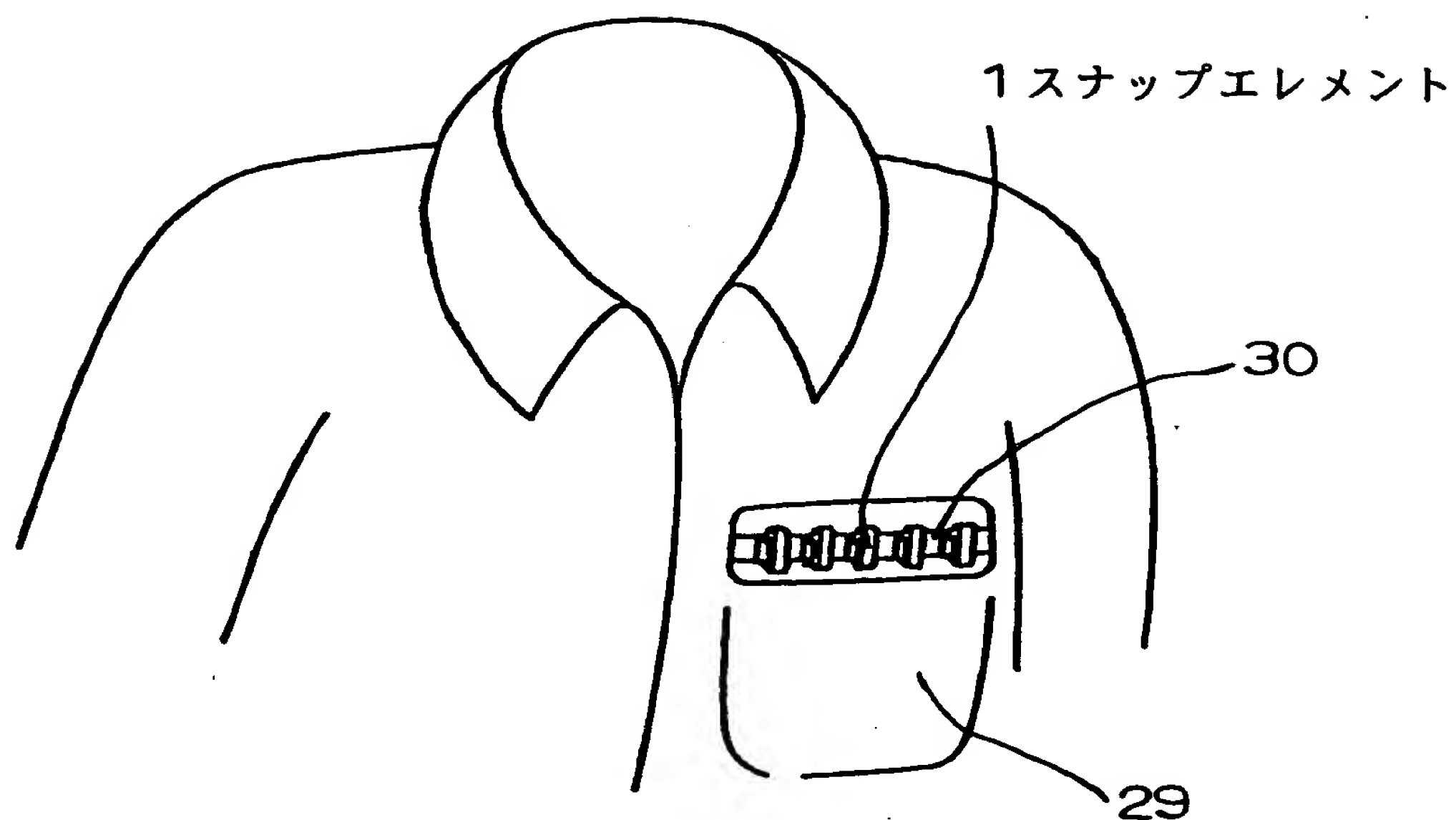
【図 15】



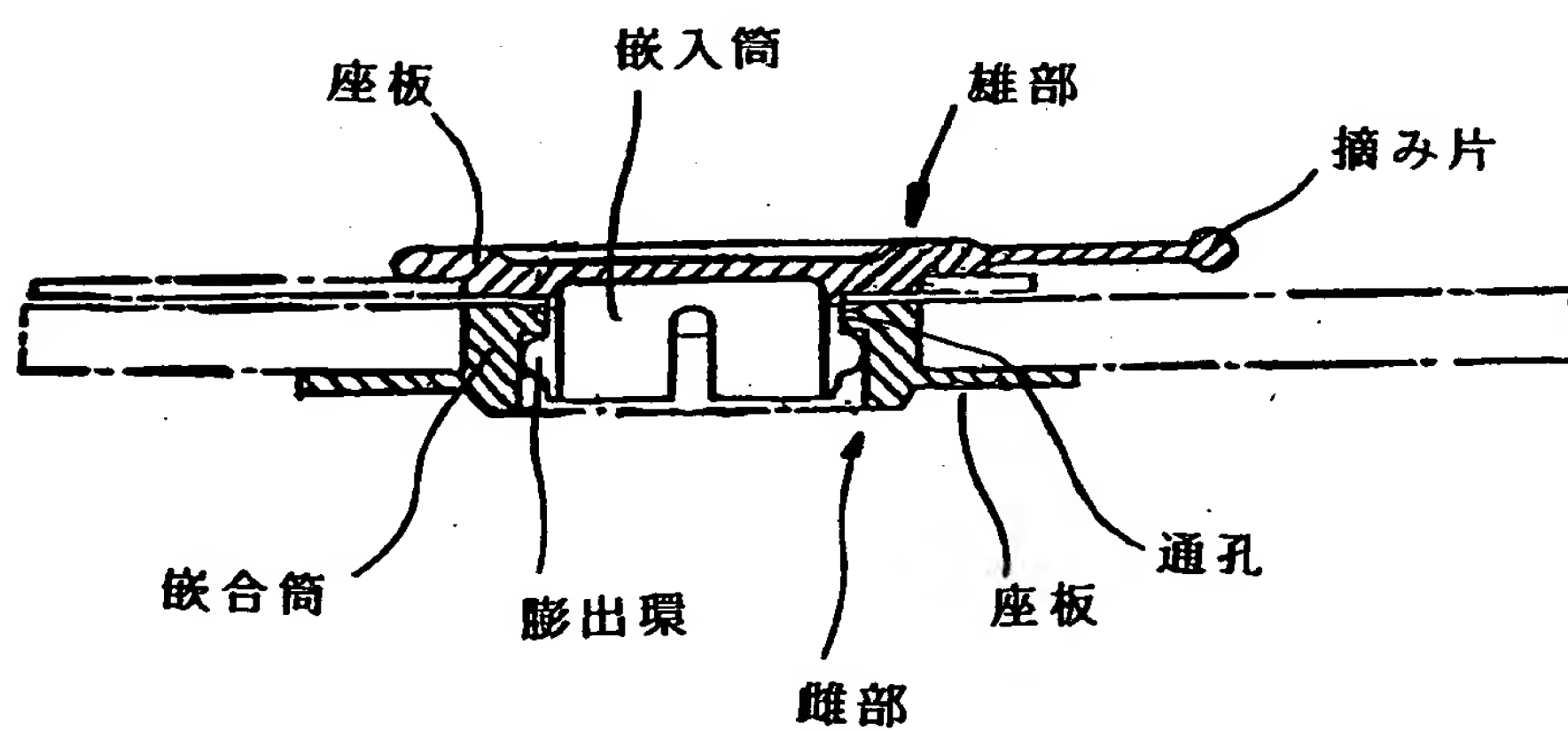
【图 16】



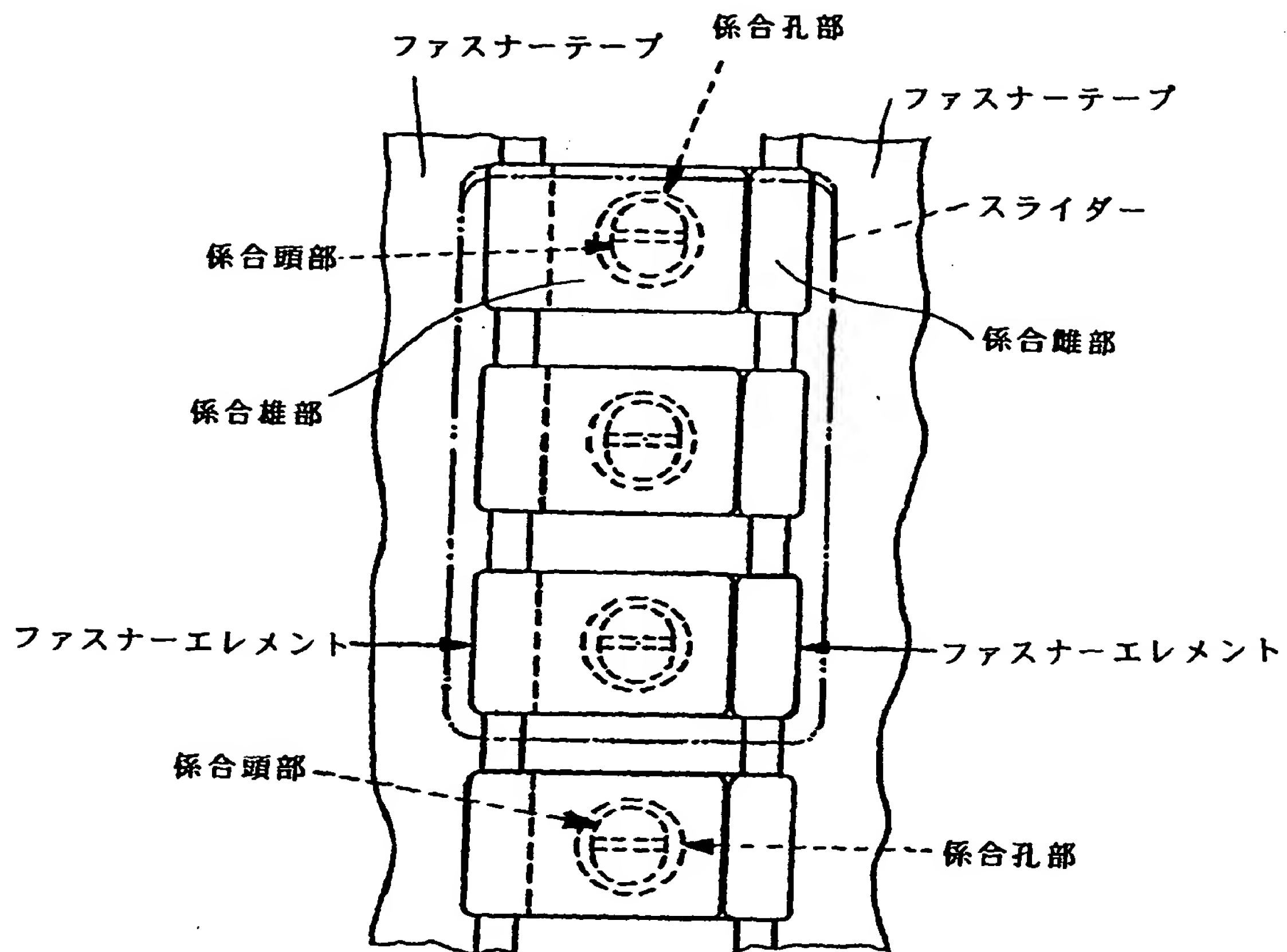
【図17】



【図18】



【図19】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 係合頭部と係合孔部が係合したとき、係合を離脱させる抜脱操作が簡単かつ的確に行えるスナップファスナーを提供する。

【解決手段】 対面方向に係脱自在な一对のスナップエレメント 1、2 は、一方の基板 3 に係合頭部、他方の基板 4 に係合孔部 7 を設け、各基板 3、4 の基部 5、5' を被着体 16 に取り付け、一方のスナップエレメント 1、2 の基板 5、5' の反対側に、他方の基部 5'、5 よりも外方へ突出する舌片状の摘み部 8 を設け、他方のスナップエレメント 2、1 に一方のスナップエレメント 1、2 の基部 5、5' と当接する受け部 9 を設け、係合時に摘み部 8 に指をあて引き起こせば、一方のスナップエレメント 1、2 は他方のスナップエレメント 2、1 の受け部 9 を起点として傾動し係合が離脱し、抜脱操作が容易にできる。

【選択図】 図 4

特 2 0 0 0 - 3 6 5 6 8 5

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 3 6 5 6 8 5
受付番号	5 0 0 0 1 5 4 7 6 5 2
書類名	特許願
担当官	第四担当上席 0 0 9 3
作成日	平成 1 2 年 1 2 月 2 6 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成12年11月30日
-------	-------------

次頁無

特2000-365685

出願人履歴情報

識別番号 [000006828]

1. 変更年月日	1994年 8月19日
[変更理由]	名称変更
住所	東京都千代田区神田和泉町1番地
氏名	ワイケイケイ株式会社